

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 4 - 10)

件名	(アルファ)線ダストモニタの故障(停止)						
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: (アルファ)線ダストモニタ</p> <p>(2) 発生の状況 運転中</p> <p>(3) 概要 (アルファ)線ダストモニタの検出器が電子部品の不良等により故障し、放射能の測定・記録及び監視機能が停止</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器についても、同様な事象の発生が予想される。</p>						
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 建屋換気設備が稼動しているエリアでの事象及び復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 故障(停止)したモニタに対して、早期故障修理による復旧または簡易測定器での代替監視の実施により、作業環境の放射線状況等を監視可能であり、これ以上の事象の進展はないため、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 故障した機器の復旧にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画書に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 放射線安全は確認されていることから、他工程への影響は生じない。</p>						
対応の概要	<p>(1) 監視機能故障(停止)の原因を調査する。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って早期故障修理または予備品との交換により復旧する。</p> <p>(3) 保守状況によっては、簡易測定器による監視を実施する。</p>						
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;"> 国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化						
(b) 運転系統を切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

